

国土交通省、文部科学省、農林水産省、経済産業省及び環境省が内閣府総合海洋政策推進事務局の協力を得て実施している「第18回海洋立国推進功労者表彰」（内閣総理大臣賞）において、以下の5名及び1団体が受賞されることとなり、令和7年7月21日（月・祝）、東京国際クルーズターミナルにおいて表彰式が行われました。

日時：令和7年7月21日（月・祝）10時30分～11時00分

場所：東京国際クルーズターミナル 3階イベントスペース

受賞者：

1. 「海洋立国日本の推進に関する特別な功績」分野

○ 小平 秀一（海洋研究開発機構理事）

（功績概要）

大規模海底探査手法の確立による海溝型地震メカニズムの実態解明に貢献

○ 須賀 利雄（東北大学大学院理学研究科教授/

東北大学・海洋研究開発機構変動海洋エコシステム研究所長）

（功績概要）

地球規模の海洋観測網構築による海洋における気候変動研究の推進に貢献

○ 多田 邦尚（香川大学名誉教授/香川大学瀬戸内圏研究センター客員教授）

（功績概要）

沿岸海域の環境研究と環境保全、および沿岸海洋学の普及啓発に貢献

○ 一般財団法人 日本船舶技術研究協会

（功績概要）

海事クラスタープラットフォームによる国際基準・規格の開発・強化

2. 「海洋に関する顕著な功績」分野

○ 安田 一郎（東京大学大気海洋研究所名誉教授/

海洋研究開発機構特任上席研究員）

（功績概要）

海洋乱流鉛直混合と海洋・生態系変動の実態解明に貢献

○ 辻本 勝（国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所研究監）

（功績概要）

実海域実船性能評価の「ものさし」の開発による海運からのGHG排出削減に貢献



第18回海洋立国推進功労者表彰の様子